

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	インターネット概論 (Introduction to Internet) 391061-14700					担当教員	坂井 一貴 (サカイ カズタカ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL/協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>インターネットの定義，仕組み，主たるサービス，各種語句などの知識を修得し，現状のインターネット環境について具体的に説明できることを第一の目的とする。</p> <p>また，インターネットを利用した商取引，経済活動が新たに多数提供されているが，それらの仕組みを理解し，説明できること，さらに今後インターネットを活用した経済活動がどのように展開されていくかを予測できることを第二の目的とする。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>総務省「情報通信白書」を中心に必要な知識・理解については講義形式で進めていく。また，理解を深めるために指定テーマを調べ，まとめる，理解を共有するグループワークも数回行う。</p> <p>一方で，授業内容に関する身近な事例等については事前学修で予め調べ把握し，事後学修で授業内容を振り返り，理解不足部分を補い，関連する事柄等をまとめ体系的な理解となるように努めること。また，授業に関する事例が多く紹介されるBSテレ東の経済番組を日々見ることも推奨する。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
<p>前提科目：「ネットワークリテラシー」を履修し単位修得しておくこと。 または，それと同等以上の知識・技術を有していること。</p>									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) インターネットの定義と主たるサービスを専門的な語句を用いて他者に具体的に説明できる。</p> <p>(ii) インターネットを利用した経済活動の仕組みについて，そのビジネスモデルを他者に具体的に説明できる。</p> <p>(iii) これまでの情報通信技術やそれらを利用した経済活動の変化を踏まえて，インターネットに関連する周辺分野について5年から10年後の将来を予測することができる。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
<p>インターネット上のPDF資料 総務省「情報通信白書」平成27年版～令和2年版 http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/index.html</p>									
⑦ 参考図書・指定図書									
各種事例に応じて，該当するWebページ等も併せて紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法, フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合		20%		80%				100%
(i) インターネットの 定義・サービス等を 説明できる		20%						20%
(ii) インターネットを 利用したビジネス モデルを説明できる				20%				20%
(iii) 情報通信技術, 経済活動の変化から 将来を予測できる				60%				60%
フィードバックの方法	小テストは採点后返却, 解答例を示す. レポートはコメントを付して, 返却をする.							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
履修者は, ニュースソースが脆弱で情報収集能力が高くないことから, 身近な事象を多く提示した授業を行う. さらに自ら調べ他者と理解を共有するグループワークにより理解度の向上をめざす.

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)	
1	授業の進め方の説明と インターネットの定義	通信デバイス (BYOD)	「情報通信白書」をダウンロード・ 印刷し一読する. 180分	
2	最近の情報通信・技術に 関する事例 (FinTech, EdTech, MedTech, x-Tech, AI, IoT, RPA, Bigdata Sharing Economy, Blockchain)	通信デバイス (BYOD)	左の語句に関して「情報通信白書」 の該当部分を調べ・理解する. 左記に関して自分自身の身近な事 例をピックアップしておく. 180分	
3	FinTech について 国内のFinTech 状況と 海外との比較	通信デバイス (BYOD)	「情報通信白書」の該当部分を調べ・ 理解する. 自分自身, または周囲で利用され てFinTech 事例をピックアップ. 180分	
4	FinTech の ビジネスモデルについて Banking is necessary. Banks are not.	通信デバイス (BYOD)	既存の金融事業者のビジネスモデル と, FinTech 事業者のビジネス モデルを調べ, まとめておく. 右の言葉は誰がいつ言ったのか, またその意図を確認する. 180分	
5	FinTech 事業における 通信キャリアの親和性と メガテック企業の動向	通信デバイス (BYOD)	通信キャリアがFinTech 事業へ 挙って参入する理由を考える. メガテック企業の動向を調べる. 180分	

6	FinTech の浸透状況と FinTech 企業の動向から 今後の行く末を考える	通信デバイス (BYOD)	今後、FinTech によって世の中が どのように変化するか自らの考 えをまとめる。 また、その変化によって、自らど のような能力を高め対応すべきか を考える。	180 分
7	インターネットを用いた 商取引について	通信デバイス (BYOD)	「情報通信白書」の該当部分を 調べ・理解する。 自分自身の身近な電子商取引等 の事例をピックアップしておく。	180 分
8	インターネット・SNS を 活用した特徴的なビジネス について	通信デバイス (BYOD)	インターネットだからこそ売れる 商品や、SNS を効果的に活用した ビジネス手法等を調べ、 複数ピックアップしておく。	180 分
9	インターネットを用いた 商取引とその影響について	通信デバイス (BYOD)	インターネット商取引に伴う 既存の百貨店、スーパー、ドラッ グストア等小売事業者への影響 と、将来変化を予測しまとめる。	180 分
10	シェアリング・ エコノミーについて (Uber, airbnb, Timee, Akipa, Rakusuru, nutte, airCloset 等)	通信デバイス (BYOD)	「情報通信白書」の該当部分を調 べ・理解する。 自分自身、または周囲で利用され て事例をピックアップする。	180 分
11	シェアリング・エコノミーと サブスクリプション、 リカーリングについて	通信デバイス (BYOD)	シェアエコをはじめとする左の ようなビジネス形態の事例を ピックアップし、なぜこれらが 増加してきたのか理由を考える	180 分
12	シェアリング・エコノミー等 による未来の変化を考える	通信デバイス (BYOD)	シェアエコ等により既存の事業者 への影響を考えまとめる。 また、各事業者がどのように ビジネスモデルを変化させる べきかを考えまとめる。	180 分
13	情報通信技術、RPA、AI の 進展に伴う仕事・働き方 の変化について	通信デバイス (BYOD)	AI 等の進展による消える仕事、 残る仕事について調べ、その 特徴をまとめる。 AI や RPA が得意なこと、不得意な ことを考えまとめる。	180 分
14	情報通信技術、RPA、AI の 進展に伴う求められる 能力の変化について	通信デバイス (BYOD)	技術進化に伴い、これまで 必要とされてきた能力と、 今後必要とされる能力の 違いを予測しまとめる。	180 分
15	AI、ビッグデータ、IoT 等が 進展した高度情報社会で 生きていくこと	通信デバイス (BYOD)	10 年後はこれまでの 10 年とは 全く違った社会になる可能性が あるとき、今のような知識や 技能を身に付け、能力を高める べきかを考えまとめる。	180 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL および協同学修型 AL を採用する。

事前学修のために提示した課題の内容を踏まえ授業を展開し、授業中に事前に学修した内容について、学生同士ペアやグループになって情報を共有し、さらに理解を深めることによって知識の定着・確認をする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性